

平成19年 第1決算審査特別委員会討論要旨

◎ 新 政 会

本委員会に付託されました「平成18年度一般会計歳入歳出決算」につきまして新政会を代表し、その認定を可とする立場で若干の意見、要望を付して討論いたします。

2年目となる「滝川市活力再生プラン（通称タッグ計画）」は、全ての分野において達成されたわけではありませんが、着実に前進していることから市理事者、職員の皆様に敬意を表するところであります。

（歳 入）

国庫支出金・道支出金等の減額による厳しい財政状況の中で、歳入不足を補うため効率的な執行に努めていただいたことを評価するものであります。

引き続き財政健全化に向け、一層の努力と市民の皆さんが安心し、納得のいく財政運営に努めていただくよう要望します。

（歳 出）

1. 総 務 費

総務管理費、賦課徴収費、運営協議会費等において節減の努力が見られることを評価するもので、さらなる経費節減と住民サービスに努められたい。

2. 民 生 費

老人福祉について、今後さらに進む高齢化社会の実情を十分に分析し、医療費等の減少においても十分な住民福祉サービスの充実に努められたい。

3. 衛 生 費

健康なまちづくり推進事業、国保ヘルスアップ事業など住民の健康と安心に留意した施策は評価されるものです。今後、高齢化社会が進み命と健康を守るための施策はさらに重要な住民サービスになることは明らかであり、保健事業の充実に努められたい。

4. 労 働 費

若者の就労に対する意識が低く、また職場も少ないことから、関係機関と密なる連携をもって魅力あるまちづくりに努めていただきたい。また、民間から能力のある人材等を投与することも検討していただきたい。

5. 農林業費

土地改良事業による農家の負担の軽減に努められたことは評価される。水稻生産振興事業においても、生産調整などを行い売れる米づくりに取り組み、高品質の率が1.7倍に伸びたことなどは評価されます。また、なたね推進事業については、補助金打ち切り平成21年以降も、観光面からも持続されることに努められたい。滝川市の重要な産業として、さらに振興策、販売強化に向けて一層の努力を重ねていただきたい。

6. 商 工 費

街なか居住推進事業、街なか地域文化交流広場事業など評価される事業であるが、中心市街地活性化においては商店街の実情を十分に把握し、地域関係者とともに活性化に向けて努力されたい。

7. 土 木 費

緑化推進事業による公園などの公共施設の緑化に取り組まれたことは、市民のための環境づくりとして評価されるものである。また、除排雪事業については、通学路と市民の安全確保のためにも充実した管理体制に努められたい。

8. 教 育 費

- (1) 小・中学校の適正配置、改修改築の時期が来ていると思うが、総合的な検討を重ね速やかに進めるよう努力されたい。
- (2) 学校給食費の未納問題については、教育委員会の積極的ななかかわりにおいて全市的連携指導が必要と考えられる。
- (3) 心の教育推進プランについては、机上の議論、絵に描いた餅にならぬよう充実したプログラムの実施に努めていただきたい。

9. 職 員 費

厳しい財政の中で職員費にも努力されていることは評価するところであり、住民サービスの低下にならぬようさらなる努力を期待する。

◎ 市 民 ク ラ ブ

市民クラブを代表して、第1決算審査特別委員会に付託されました「平成18年度滝川市一般会計歳入歳出決算」について認定を可とする立場で若干の意見、要望を付して討論を行います。

国の交付税の大幅な減税の中で財政再建を最優先として、市民の皆様の協力の下に数多くの痛みを分かち合う行財政改革を進め、財政の効率的な運営を図り経費の節減などの努力に対し理事者並びに職員の皆様に対し心より敬意を表します。

(歳 入)

国の交付税の大幅減税により、地方自治体はますます厳しい状況にあり、市財政に与える影響は多大である。自主財源の確保に向けては、なお一層の努力をされたい。

(歳 出)

1. 総 務 費

行財政改革による持続的な財政確保は、評価するものであります。一層の安定的な財政運営に向けて努力されたい。

2. 民 生 費

少子高齢化社会を迎えて、高齢者福祉、乳幼児、母子、障害者対策等、施策の充実を図るとともにノーマライゼーションの精神が行き渡るよう努められたい。

3. 衛 生 費

市民の命と健康を守る観点から、健康管理・増進、健康診査事業の充実等、さらに休日夜間急病医療体制の充実に向けて努力をされたい。

4. 労 働 費

地元で職場を求める若者や就労希望者に対して、特に若年層の就職率が高まるよう、職場の確保に向けて各関係機関との連携に努められたい。

5. 農 林 業 費

- (1) 滝川市担い手育成総合支援協議会が設置され成果を上げたことは評価するものであります。農業後継者、Uターン者と合わせてさらに育成強化をされたい。
- (2) 食の安心安全、クリーンのイメージにより農産物の海外への輸出もあり、滝川産の農産物の名声が高くなる中で、よりイメージアップを図り、さらに地域農産物のブランド化に向けて販売強化に一層の努力をされたい。
- (3) 営農振興室のさらなる拡充に向けて各関係機関との連携を図り、特に若手農業者のグループの育成、担い手、営農集団、農業法人化対策等育成強化されたい。

6. 商 工 費

- (1) 滝川での各種イベントが四季を通じて開催され、市内外より多くの参加者となり、さらには市内外の観光キャンペーン等による集客に努力されたことは評価するものである。
- (2) 都市と農村の交流、ふれあいファーム、ホームステイ等滝川の人と自然のよさに触れてもらえる体験型観光に努められたい。

7. 土 木 費

- (1) 災害時の対応は市民の命と財産を守るために迅速な対応を図られたい。
- (2) 冬期間の通学路、交差点の除雪は交通安全のためにも努力されたい。

8. 教 育 費

- (1) 学校教育の充実を図るとともに教材、教具の整備を図り、老朽化した校舎の改築を行うよう努力されたい。
- (2) 食の教育を通して先生方自ら参画する機会をとらえ、食の安全、安心、食物や命の尊さを伝えるよう努力されたい。

◎ 公 明 党

公明党を代表し、本委員会に付託されました議案第1号「平成18年度滝川市一般会計歳入歳出決算」に対し、賛成の立場で討論いたします。つきましては、総論で討論をさせていただきます。

平成18年度は、三位一体改革による税収削減の中、市税の収納率向上、職員費の削減、さまざまな行政改革の努力に対し市理事者、職員の皆様に敬意を表します。しかし、今後も財政健全化に向け、さらなる財政改革を推進されなければなりません。市長をはじめ、議員、職員の意識改革こそが、最重要課題と強く申し上げ公明党の賛成討論といたします。

◎ 日 本 共 産 党

日本共産党市議団を代表し、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号「平成18年度一般会計歳入歳出決算」の認定を否とする立場で討論を行います。

最初に深刻な不況や一般財源歳入減少、職員削減など厳しい状況の中、事業に取り組まれた市理事者及び職員の皆様に敬意を表します。決算では、結果として財政関係3基金残高をタッグ計画の2倍に引き上げたこと。第三セクターなどの不良債務を計画どおりに一般会計で処理したこと。収納率改善などの取り組みによる歳入増、介護保険認定者への税控除の実施、少ない予算の中での理事者、職員皆様の献身的な努力でまちづくりと教育、市民サービス向上等経営への支援などで、貴重な前進をされたことなど予算で掲げた目標の多くを実現できたと考えます。しかしながら、一般会計決算認定に賛成できない理由は、以下のとおりです。

第1は、子育て負担増です。2年目に入り幼稚園、保育所の保護者の圧倒的多数の納得を得る行動が見られませんでした。本来なら、超過負担が4,000万円代にまで縮小されたことや、私立幼稚園就園奨励補助金の市の負担減は、3年後でもわずか500万円程度であることを考えれば、全国一高い子育て負担を解消するため、また保護者と圧倒的な市民の声を反映するため、基金の積み上げの一部を活用する段階に入っているのではないのでしょうか。これらの検討がされないようでは問題です。

第2は、ホームマックの拡大移転への姿勢です。農業振興地域除外は、早くも、りょーゆー扇町店に続き、ジョイ滝の川店の撤退表明の原因となりました。國學院短期大学への支援なら、既に十二分に行っております。数千人のお年寄りの買い物犠牲にしたことは重大です。また、都市計画マスタープランでは、農民団体機関との協議などを経てまちづくり全体の視野で、検討すべきだったことにも関わらず、商業団体など多くの市民の反対の中で強行したことは重大です。

第3は、いじめの問題で、教育長はじめ一部の事務局職員がいじめを隠ぺいしたことは、市民の教育への信頼を裏切るものでした。教育委員会の体制、推薦の仕方にも検討が必要です。

第4は、総括の観点での理由です。タッグプランの進め方の問題です。タッグ計画の精神に反し、市立病院の建てかえを一般市民の多数が反対しても進める考えであったことが最近になって判明しました。8月末に基本設計を終え、9月議会前半に議決されなければ、起債も受けられないと考えて18年度の基本計画などを執行してきたことがわかってきました。これでは、まちづくり全体に責任を持つ市政運営とは言えません。最後に、来年度予算策定に向けては、これらの批判を受け止め、生かしていくことを求めるものです。また、意見を付して討論とします。

(歳 入)

地方交付税法に沿った交付税率の引き上げや、財源調整機能確保を国に強く求められたい。

(歳 出)

1. 議 会 費

議事録作成システムとホームページ化を早期実現されたい。

2. 総 務 費

- (1) 市長公宅、市民会館、黒塗り高級車の売却対応を進められたい。
- (2) 住基カードにこれ以上の経費をかけるべきでない。また、408名の住基カード保持者に260万円の経費をかけていることから、ほかの手数料との整合性を図られたい。
- (3) 入札制度への第三者によるチェックを実現されたい。
- (4) 給与年金振込口座差し押さえでは、生活費の最低基準を守られたい。
- (5) 交通安全設備設置に関する設置促進などに向け、警察との関係とのあり方を検討されたい。
- (6) 退任議員への表彰は、期数を基準としたものは廃止をされたい。
- (7) 清掃委託業務については、適正な運用活動を再検討されたい。
- (8) 嘱託職員の更新については、公平、公正を図られたい。

3. 民 生 費

- (1) 生活保護は、即日申請を基本にされたい。
- (2) 保育所利用料は、まず、超過負担が4,210万円まで減少したことを踏まえ、さらに、お金がなくて幼稚園を移っている可能性も含め来年度に向けこれ以上の値上げをしないことを検討されたい。

4. 衛 生 費

- (1) 古紙、ペット、その他プラスチックのリサイクル率向上を抜本的に強化されたい。
- (2) 子育て、介護に対し、ごみ袋の減免制度を実現されたい。
- (3) 中心市街地における不法投棄や、危険な廃屋については、年内に改善されたい。

5. 労 働 費

- (1) 新規卒業生の未就職者就職対策として、市と同様に関係団体にも臨時職員の特別枠を設けるように働きかけられたい。
- (2) 季節労働者対策を強化されたい。

6. 農 林 業 費

- (1) 標準小作料の支払いが厳しくなっていることから、不耕作地ができないよう対策を強化されたい。
- (2) ハウスやなたね栽培については、安定的な収入が得られるよう、支援を強化されたい。
- (3) どうぶつらんのシーズン券導入を検討されたい。

7. 土 木 費

- (1) バス停の除雪をバス会社に強く求められたい。
- (2) 水郷滝川公園の遊歩道の確保に努められたい。

8. 教 育 費

- (1) 学校教職員へのパソコン備品化を1人1台に早期実現されたい。
- (2) 灯油漏れの最大の原因である地下タンクは教育委員会をはじめとして、数十カ所残っており、早期に地上化を進められたい。
- (3) いじめられる子どもの早期発見と対策のため、引き続きカウンセラーや相談員の体制強化を図られたい。
- (4) 美術自然史館のように、イベント共通券など、利用増収増入増策を早期に実施されたい。
- (5) 生涯学習振興会の基金1億円が創立以来使われていないが、市が支出した8,500万円の活用として不十分で、返還を含め振興会との意見交換の進め方を検討されたい。
- (6) パークゴルフは心身向上には実証済みであり、河川敷も含めコースや施設を充実されたい。
- (7) 児童図書館の効果も高くプラタナス号の早期更新に努められたい。